

調査の概要

1 調査の目的

この調査は、保健、医療、福祉、年金、所得等国民生活の基礎的事項を調査し、厚生労働行政の企画及び運営に必要な基礎資料を得ることを目的とするものであり、昭和61年を初年として3年ごとに大規模な調査を実施し、中間の各年は簡易な調査を実施することとしている。

平成28年は、11回目の大規模調査を実施した。

2 調査の対象及び客体

全国の世帯及び世帯員を対象とし、世帯票及び健康票については、平成22年国勢調査区のうち後置番号1及び8から層化無作為抽出した5,410地区内のすべての世帯（約29万世帯）及び世帯員（約71万人）を、介護票については、前記の5,410地区内から層化無作為抽出した2,446地区内の介護保険法の要介護者及び要支援者（約8千人）を、所得票・貯蓄票については、前記の5,410地区に設定された単位区のうち後置番号1から層化無作為抽出した1,963単位区内のすべての世帯（約3万世帯）及び世帯員（約8万人）を調査客体とした。

ただし、以下については調査の対象から除外した。

①世帯票・健康票・介護票

次に掲げる、世帯に不在の者

単身赴任者、出稼ぎ者、長期出張者（おおむね3か月以上）、遊学中の者、社会福祉施設の入所者、長期入院者（住民登録を病院に移している者）、預けた里子、収監中の者、その他の別居中の者

②所得票・貯蓄票

上記「世帯票」で掲げる不在の者、世帯票調査日以降に転出入した世帯及び世帯員、住み込み又はまかない付きの寮・寄宿舎に居住する単独世帯

注：1 「後置番号」とは、国勢調査区の種類を表す番号であり、「1」は一般調査区、「8」はおおむね50人以上の単身者が居住している寄宿舎・寮等のある区域をいう。

2 「単位区」とは、推計精度の向上、調査員の負担平準化等を図るため、一つの国勢調査区を地理的に分割したものである。

3 調査の実施日

世帯票・健康票・介護票 …… 平成28年6月2日（木）

所得票・貯蓄票 …… 平成28年7月14日（木）

4 調査の事項

世帯票 …… 単独世帯の状況、5月中の家計支出総額、世帯主との続柄、性、出生年月、配偶者の有無、医療保険の加入状況、公的年金・恩給の受給状況、公的年金の加入状況、就業状況等

健康票 …… 自覚症状、通院、日常生活への影響、健康意識、悩みやストレスの状況、こころの状態、健康診断等の受診状況等

介護票 …… 介護が必要な者の性別と出生年月、要介護度の状況、介護が必要となった原因、介護サービスの利用状況、主に介護する者の介護時間、家族等と事業者による主な介護内容等

所得票 …… 前年1年間の所得の種類別金額・課税等の状況、生活意識の状況等

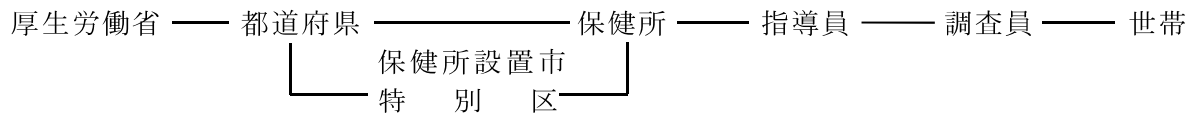
貯蓄票 …… 貯蓄現在高、借入金残高等

5 調査の方法

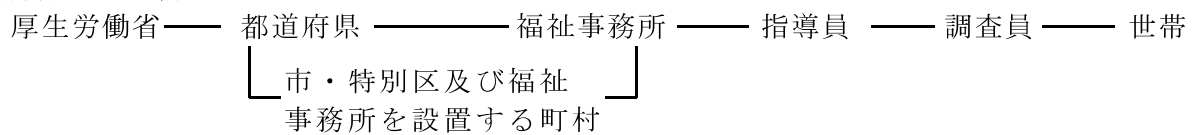
あらかじめ調査員が配布した調査票に世帯員が自ら記入し、後日、調査員が回収する方法により行った。ただし、貯蓄票については、密封回収する方法により行い、健康票・所得票については、やむを得ない場合のみ密封回収を行った。

6 調査の系統

①世帯票・健康票・介護票



②所得票・貯蓄票



7 結果の集計及び集計客体

結果の集計は、厚生労働省政策統括官（統計・情報政策担当）において行った。
なお、調査客体数、回収客体数及び集計客体数は次のとおりであった。

	調査客体数	回収客体数	集計客体数 (集計不能のものを除いた数)
世帯票・健康票	289 470世帯	224 641世帯	224 208世帯
所得票・貯蓄票	34 286世帯	25 275世帯	24 604世帯
介護票	7 573人	7 002人	6 790人

※ 国民生活基礎調査は、統計法に基づく基幹統計「国民生活基礎統計」を作成するための統計調査である。

----- 調査員記入欄 -----

地区番号						単 位 区 番 号			世帯番号		
------	--	--	--	--	--	-----------	--	--	------	--	--

この調査は、統計法に基づき国が実施する基幹統計調査です。
調査票情報の秘密の保護に万全を期していますので、ありのままを記入してください。

<記入上の注意>

- ・ 『(世帯票・健康票)記入のしかた』をよくお読みになってから記入してください。
- ・ もし記入方法がわからなかった場合は、調査員が受け取りにうかがったときにおたずねください。
- ・ 選択肢は指示がない場合は、あてはまる番号1つに○をつけてください。
- ・ 数字は右づめで記入してください。
- ・ できるだけ黒のボールペンで記入してください。

あなたの世帯について、平成28年6月2日現在の状況をお答えください。

- ・ 世帯とは、ふだん住居と生計を共にしている人々(世帯員)の集まりをいいます。
 - ・ 世帯員には、旅行や出張などで一時的(3か月以内)に自宅を離れている人や船員など就業場所を移動する人も含まれます。
- また、病院に入院している人も含まれますが、住民登録を病院に移している人は除きます。さらに、単身赴任や学業で世帯を離れている人、老人福祉施設などの社会福祉施設に入所している人も除きます。

I 世帯の状況

質問1 ふだん一緒にお住まいで、生計を共にしている方(世帯員)は、あなたを含めて何人ですか。(一時的に不在の方を含みます。)

<div style="border-bottom: 1px dashed black; width: 100%;"></div>	人
---	---

1人(単独世帯)の場合は、補問1-1にもお答えください。

補問1-1 1人(単独世帯)の方の場合は、その状況についてお答えください。

<p>【単独世帯の状況】</p> <p>1 住み込み、寄宿舍等に居住する単独世帯</p> <p>2 その他の単独世帯</p>	<p>【単身赴任か否か】</p> <p>1 単身赴任者である</p> <p>2 単身赴任者でない</p>
---	---

質問2 現在は、単身赴任などで世帯を離れているが、その前は、一緒にお住まいで生計を共にしていた方がいる場合は、あてはまるすべての番号に○をつけ、それぞれの人数を記入してください(いない場合は、7に○をつけてください。)

1 単身赴任で世帯を離れている者がいる	→	□	人
2 学業のため世帯を離れている者がいる	→	□	人
社会福祉施設に入所している者がいる			
3 老人福祉施設に入所している者がいる	→	□	人
4 障害者支援施設に入所している者がいる	→	□	人
5 3,4以外の社会福祉施設に入所している者がいる	→	□	人
6 病院に長期入院している(住民登録を病院に移している。)者がいる	→	□	人
7 1~6の者はいない			

※ 1~6に該当する方は、この調査の世帯員とはなりませんので、質問1の人数には含めなくてください。

裏面に続きます。

質問3 お住まいの住居の種類と建て方についてお答えください。

<p>【住居の種類】</p> <p>1 持ち家 2 民間賃貸住宅 3 社宅・公務員住宅等の給与住宅 4 都市再生機構・公社等の公営賃貸住宅 5 借間・その他</p>	}	→	<p>【建て方】</p> <p>1 一戸建て 2 共同住宅 (マンション、アパート等)</p>
---	---	---	--

質問4 お住まいの住居の室数について、居住用の部屋数（玄関や風呂等は含めないでください。）を記入してください。

また、床面積は、玄関や廊下等も含めた住宅全体のおおよその床面積を記入してください。

<p>【室数】</p> <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 40px; margin: 5px auto; position: relative;"> } 室 </div>	<p>【床面積】</p> <div style="border: 1px solid black; width: 200px; height: 40px; margin: 5px auto; position: relative;"> } ㎡ </div>	<p>※ 床面積の換算 1 坪 = 3.3㎡ 2 畳 = 3.3㎡</p>
--	---	---

質問5 5月中の家計支出総額（世帯の方全員の支出金額の合計額）を記入してください。

}
万円

※ 以下の費用は家計支出には含めないでください。

税金、社会保険料、事業上の支払い(農家における肥料や農具、商店における商品の仕入れに使った金等)、貯蓄、借金や住宅ローンなどの返済、掛け捨て型以外の生命保険料・損害保険料

補問5-1 小学校入学前の方がいる場合は、5月中の家計支出総額のうち、育児にかかった費用を記入してください。

}
万

}
千円

※ 育児にかかった費用とは、ミルク代、離乳食代、医療費、保育料、習い事の費用、衣服費、おもちゃ代、その他育児にかかった費用のすべてが入ります。

補問5-2 5月中の家計支出総額のうち、別居している親又は子への仕送りの状況をお答えください。仕送りの目的については、あてはまるすべての番号に○をつけてください。

<p>【仕送りの状況】</p> <p>別居している親がいる</p> <p>↳ <input type="checkbox"/> 1 仕送りあり ↳ <input type="checkbox"/> 2 仕送りなし</p> <p>3 別居している親はいない</p>	→	<p>【仕送りの目的】</p> <p>1 入所・入院費 2 その他</p>	<p>【仕送り額】</p> <div style="border: 1px solid black; width: 150px; height: 40px; margin: 5px auto; position: relative;"> } 万円 </div>
<p>【仕送りの状況】</p> <p>別居している子がいる</p> <p>↳ <input type="checkbox"/> 1 仕送りあり ↳ <input type="checkbox"/> 2 仕送りなし</p> <p>3 別居している子はいない</p>	→	<p>【仕送りの目的】</p> <p>1 学業 2 その他</p>	<p>【仕送り額】</p> <div style="border: 1px solid black; width: 150px; height: 40px; margin: 5px auto; position: relative;"> } 万円 </div>

引き続き「Ⅱ 世帯員の状況」についてもお答えください。

II 世帯員の状況

すべての世帯員の方について、ひとり一列で記入してください。
世帯員の記入順序は、夫婦・親子の関係がある方を順に並べて記入してください。
選択肢は指示がない場合は、あてはまる番号1つに○をつけ、数字は右づめで記入してください。

調査員記入欄
地区番号 単位区番 世帯番号

質問1 最多所得者 (世帯員番号) 01, 02, 03
質問2 世帯主との続柄
質問3 性
質問4 出生年月
質問5 配偶者(夫又は妻)の有無
質問6 医療保険の加入状況
質問7 公的年金・恩給の受給状況

小学校入学前の方についてお答えください。
質問8 乳幼児(小学校入学前)の保育状況

6歳以上の方についてお答えください。
質問9 手助けや見守りの要否

手助けや見守りを必要としている方についてお答えください。
補問9-1 日常生活の自立の状況
補問9-2 期間
補問9-3 要介護認定の有無

主に手助けや見守りをしている方とはどなたかお答えください。(質問9で手助けや見守りを「1 必要としている」と回答した方への質問です。)
補問9-4 同別居の状況
補問9-5 主に手助けや見守りをしている方の続柄
補問9-6 主に手助けや見守りをしている方の性

裏面に続きます。(15歳未満の方については質問終了です。)

表面の世帯員番号と同じ列に記入してください。

(世帯員番号)	01	02	03
15歳以上の方についてお答えください。			
質問10 教育 現在、学校に在学しているかどうかお答えください。「在学中」の方はその学校について、「卒業」の方は最終卒業学校(中途退学をした方はその前の学校)についてお答えください。 ・予備校などはここでいう学校には含めません。 ・「1 小学・中学」又は「2 高校・旧制中」に○をつけた方で「1 特別支援学校・特別支援学級」に在学中又は卒業した方はこちらにも○をつけてください。	1 在学中 } 1 小学・中学 } 2 高校・旧制中 2 卒業 } 3 専門学校 } 4 短大・高専 3 在学した } 5 大学 1 特別支援学校・ ことがない } 6 大学院 特別支援学級	1 在学中 } 1 小学・中学 } 2 高校・旧制中 2 卒業 } 3 専門学校 } 4 短大・高専 3 在学した } 5 大学 1 特別支援学校・ ことがない } 6 大学院 特別支援学級	1 在学中 } 1 小学・中学 } 2 高校・旧制中 2 卒業 } 3 専門学校 } 4 短大・高専 3 在学した } 5 大学 1 特別支援学校・ ことがない } 6 大学院 特別支援学級
質問11 公的年金の加入状況 加入している 20歳以上60歳未満の方は原則として加入しています。 加入していない 20歳未満で仕事をしていない方、すでに老齢年金又は退職年金を受給している方、受給資格があるが受給待ちの方などが該当します。	公的年金に加入している 1 国民年金第1号被保険者 (自営業者や学生等) 2 国民年金第2号被保険者 (会社員や公務員等) 3 国民年金第3号被保険者 (会社員や公務員等の配偶者) 4 公的年金に加入していない	公的年金に加入している 1 国民年金第1号被保険者 (自営業者や学生等) 2 国民年金第2号被保険者 (会社員や公務員等) 3 国民年金第3号被保険者 (会社員や公務員等の配偶者) 4 公的年金に加入していない	公的年金に加入している 1 国民年金第1号被保険者 (自営業者や学生等) 2 国民年金第2号被保険者 (会社員や公務員等) 3 国民年金第3号被保険者 (会社員や公務員等の配偶者) 4 公的年金に加入していない
質問12 別居している子の有無 別居している子の有無について、お答えください。	別居している子が 1 いる 2 いない → (質問13へ)	別居している子が 1 いる 2 いない → (質問13へ)	別居している子が 1 いる 2 いない → (質問13へ)
補問12-1 最も近くに住んでいる別居の子の居住地	1 同一家屋 4 同一市区町村 2 同一敷地 5 その他の地域 3 近隣地域	1 同一家屋 4 同一市区町村 2 同一敷地 5 その他の地域 3 近隣地域	1 同一家屋 4 同一市区町村 2 同一敷地 5 その他の地域 3 近隣地域
質問13 5月中の仕事の状況 収入を伴う仕事を少しでもした方は「仕事あり」、まったく仕事をしなかった方は「仕事なし」の中からお答えください。 無給で自家営業の手伝いをした場合や、育児休業や介護休業のため、一時的に仕事を休んでいる場合も「仕事あり」とします。PTA役員やボランティアなど無報酬の活動は「仕事なし」とします。なお、家事には、育児、介護などを含めます。	仕事あり 1 主に仕事をしている 2 主に家事で仕事あり 3 主に通学で仕事あり 4 その他 仕事なし 5 通学 6 家事 7 その他 (質問18へ)	仕事あり 1 主に仕事をしている 2 主に家事で仕事あり 3 主に通学で仕事あり 4 その他 仕事なし 5 通学 6 家事 7 その他 (質問18へ)	仕事あり 1 主に仕事をしている 2 主に家事で仕事あり 3 主に通学で仕事あり 4 その他 仕事なし 5 通学 6 家事 7 その他 (質問18へ)

質問13で「1」～「4」(仕事あり)と回答した方についてお答えください。

質問14 1週間の就業日数等 5月16日(月)～22日(日)の1週間に実際に仕事をした日数と時間をお答えください。 なお、複数の仕事をした場合は、すべての合計をお答えください。	【就業日数】 1週間の仕事をした日数 <input type="text"/> 日 【就業時間】 1週間の残業も含めた総時間 <input type="text"/> 時間	【就業日数】 1週間の仕事をした日数 <input type="text"/> 日 【就業時間】 1週間の残業も含めた総時間 <input type="text"/> 時間	【就業日数】 1週間の仕事をした日数 <input type="text"/> 日 【就業時間】 1週間の残業も含めた総時間 <input type="text"/> 時間
---	---	---	---

現在の主な仕事についてお答えください。

質問15 就業開始時期 主な仕事について、その仕事についてした時期をお答えください。	1 大正 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月 2 昭和 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月 3 平成	1 大正 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月 2 昭和 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月 3 平成	1 大正 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月 2 昭和 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月 3 平成
質問16 仕事の内容(職業分類) 主な仕事について、お答えください。	01 管理的職業従事者 07 農林漁業従事者 02 専門的・技術的職業従事者 08 生産工程従事者 03 事務従事者 09 輸送・機械運転従事者 04 販売従事者 10 建設・採掘従事者 05 サービス職業従事者 11 運搬・清掃・包装等従事者 06 保安職業従事者 12 分類不能の職業	01 管理的職業従事者 07 農林漁業従事者 02 専門的・技術的職業従事者 08 生産工程従事者 03 事務従事者 09 輸送・機械運転従事者 04 販売従事者 10 建設・採掘従事者 05 サービス職業従事者 11 運搬・清掃・包装等従事者 06 保安職業従事者 12 分類不能の職業	01 管理的職業従事者 07 農林漁業従事者 02 専門的・技術的職業従事者 08 生産工程従事者 03 事務従事者 09 輸送・機械運転従事者 04 販売従事者 10 建設・採掘従事者 05 サービス職業従事者 11 運搬・清掃・包装等従事者 06 保安職業従事者 12 分類不能の職業
質問17 勤めか自営かの別 主な仕事について、お答えください。 01、02、03、04と答えた方は、補問17-1、17-2をお答えください。	01 一般常雇者(契約期間の定めのない雇用户) 02 一般常雇者(契約期間が1年以上の雇用户) 03 1月以上1年未満の契約の雇用户 04 日々又は1月未満の契約の雇用户 05 会社・団体等の役員 06 自営業主(雇人あり) 07 自営業主(雇人なし) 08 家族従業者(自家営業の手伝い) 09 内職 10 その他 (質問終了です。)	01 一般常雇者(契約期間の定めのない雇用户) 02 一般常雇者(契約期間が1年以上の雇用户) 03 1月以上1年未満の契約の雇用户 04 日々又は1月未満の契約の雇用户 05 会社・団体等の役員 06 自営業主(雇人あり) 07 自営業主(雇人なし) 08 家族従業者(自家営業の手伝い) 09 内職 10 その他 (質問終了です。)	01 一般常雇者(契約期間の定めのない雇用户) 02 一般常雇者(契約期間が1年以上の雇用户) 03 1月以上1年未満の契約の雇用户 04 日々又は1月未満の契約の雇用户 05 会社・団体等の役員 06 自営業主(雇人あり) 07 自営業主(雇人なし) 08 家族従業者(自家営業の手伝い) 09 内職 10 その他 (質問終了です。)
補問17-1 勤め先での呼称 「労働者派遣事業所の派遣社員」とは労働者派遣法に基づく事業所に雇用され、そこから派遣されている人をいいます。	1 正規の職員・従業員 2 パート 3 アルバイト 4 労働者派遣事業所の派遣社員 5 契約社員 6 嘱託 7 その他	1 正規の職員・従業員 2 パート 3 アルバイト 4 労働者派遣事業所の派遣社員 5 契約社員 6 嘱託 7 その他	1 正規の職員・従業員 2 パート 3 アルバイト 4 労働者派遣事業所の派遣社員 5 契約社員 6 嘱託 7 その他
補問17-2 企業規模・官公庁の別 本社・本店や出張所などを含めた企業全体の従業員数をお答えください。 「官公庁」とは、国の機関や地方自治体をいいます。	1 1～4人 6 500～999人 2 5～29人 7 1000～4999人 3 30～99人 8 5000人以上 4 100～299人 9 官公庁 5 300～499人	1 1～4人 6 500～999人 2 5～29人 7 1000～4999人 3 30～99人 8 5000人以上 4 100～299人 9 官公庁 5 300～499人	1 1～4人 6 500～999人 2 5～29人 7 1000～4999人 3 30～99人 8 5000人以上 4 100～299人 9 官公庁 5 300～499人

質問13で「5」～「7」(仕事なし)と回答した方についてお答えください。

質問18 就業希望の有無 就業希望の有無について、お答えください。	収入を伴う仕事を 1 したいと思っている 2 したいと思っていない (質問終了です。)	収入を伴う仕事を 1 したいと思っている 2 したいと思っていない (質問終了です。)	収入を伴う仕事を 1 したいと思っている 2 したいと思っていない (質問終了です。)
補問18-1 どのような形で仕事をしたいと思いませんか 最もしたいと思う仕事の形の番号1つに○をつけてください。現在仕事を探していない方でも、仕事につくとしたらどのような形で仕事をしたいかをお答えください。	1 正規の職員・従業員 2 パート・アルバイト 3 労働者派遣事業所の派遣社員 4 契約社員・嘱託 5 自営 6 その他	1 正規の職員・従業員 2 パート・アルバイト 3 労働者派遣事業所の派遣社員 4 契約社員・嘱託 5 自営 6 その他	1 正規の職員・従業員 2 パート・アルバイト 3 労働者派遣事業所の派遣社員 4 契約社員・嘱託 5 自営 6 その他
補問18-2 すぐにでも仕事につけますか	すぐに仕事に 1 つける 2 につけない	すぐに仕事に 1 つける 2 につけない	すぐに仕事に 1 つける 2 につけない
補問18-3 仕事を探していますか 現在採用結果を待っている方も「探している」に○をつけてください。	仕事を 1 探している 2 探していない	仕事を 1 探している 2 探していない	仕事を 1 探している 2 探していない
補問18-4 仕事につけない理由 あてはまるすべての番号に○をつけてください。	【仕事につけない理由】 1 出産・育児のため 2 介護・看護のため 3 健康に自信がない 4 その他	【仕事につけない理由】 1 出産・育児のため 2 介護・看護のため 3 健康に自信がない 4 その他	【仕事につけない理由】 1 出産・育児のため 2 介護・看護のため 3 健康に自信がない 4 その他

国民生活基礎調査【健康票】

(平成28年6月2日調査)

この調査は、統計法に基づき国が実施する基幹統計調査です。
調査票情報の秘密の保護に万全を期していますので、ありのままを記入してください。

＜ 記入上の注意 ＞

- ・ この調査票は、世帯の方全員が1人1冊ずつ、記入してください。
- ・ 『(世帯票・健康票) 記入のしかた』をよくお読みになってから記入してください。
- ・ もし記入方法がわからなかった場合は、調査員が受け取りにうかがったときにおたずねください。
- ・ 選択肢はあてはまる番号1つ、又はあてはまるすべての番号に○をつけてください。
- ・ 数字は右づめで記入してください。
- ・ ご自分で記入できない方については、ご家族の方、又は介護をしている方が記入を手伝ってください。
- ・ できるだけ黒のボールペンで記入してください。

質問1 あなたの性・出生年月を記入してください。性・元号は、**あてはまる番号1つ**に○をつけ、出生年月には数字を**右づめ**で記入してください。

性	出生年月					
1 男	1 明治	3 昭和	□□		年	□□
2 女	2 大正	4 平成	□□		年	□□

..... 調査員記入欄

地区番号	単位区番号	世帯番号
------	-------	-------	-------	------	-------

質問2 あなたは**現在**、病院や診療所に入院中、又は、介護保険施設に入所中ですか。

- 1 はい → **質問終了です。**
 2 いいえ

※ 介護保険施設とは、介護療養型医療施設、介護老人保健施設及び介護老人福祉施設をいいます。

質問3 あなたは**ここ数日**、病気やけがなどで体の具合の悪いところ（自覚症状）がありますか。

- 1 ある 2 ない → **質問4へ**

補問3-1 それは、どのような症状ですか。**あてはまるすべての**症状名の番号に○をつけてください。その中で最も気になる症状名の番号を番号記入欄に記入してください。

全身症状	01 熱がある	呼吸器系	15 せきやたんが出る	筋骨格系	29 肩こり
	02 体がだるい		16 鼻がつまる・ 鼻汁が出る		30 腰痛
	03 眠れない		17 ゼイゼイする		31 手足の関節が痛む
	04 いらいらしやすい	消化器系	手足		32 手足の動きが悪い
	05 もの忘れする			18 胃のもたれ・ むねやけ	33 手足のしびれ
	06 頭痛			19 下痢	34 手足が冷える
	07 めまい			20 便秘	35 足のむくみやだるさ
眼	08 目のかすみ	21 食欲不振	尿路生殖器系	36 尿が出にくい・ 排尿時痛い	
	09 物を見づらい	22 腹痛・胃痛		37 頻尿(尿の出る回数が多い)	
耳	10 耳なりがする	23 痔による痛み・ 出血など		損傷	38 尿失禁(尿がもれる)
	11 きこえにくい	歯			39 月経不順・月経痛
胸部	12 動悸		24 歯が痛い	40 骨折・ねんざ・ 脱ぎゅう	
	13 息切れ	25 歯ぐきのはれ・出血			
14 前胸部に痛みがある	皮膚	26 かみにくい	41 切り傷・やけどなどの けが		
		27 発疹(じんま疹・できもの など)			
		28 かゆみ(湿疹・水虫など)	42 その他		

最も気になる症状の番号記入欄 → 番

補問3-2 最も気になる症状に対して、なんらかの治療をしていますか。**あてはまるすべての**番号に○をつけてください。

- 1 病院・診療所に通っている（往診、訪問診療を含む）
 2 あんま・はり・きゅう・柔道整復師（施術所）にかかっている
 3 売薬をのんだり、つけたりしている
 4 それ以外の治療をしている
 5 治療をしていない

質問4 あなたは**現在**、傷病（病気やけが）で病院や診療所（医院、歯科医院）、あんま・はり・きゅう・柔道整復師（施術所）に通っていますか。（往診、訪問診療、補問3-1の症状で通っているものを含む）

1 通っている 2 通っていない → **質問5へ**

補問4-1 どのような傷病（病気やけが）で通っていますか。あてはまるすべての傷病名の番号に○をつけてください。その中で最も気になる傷病名の番号を番号記入欄に記入してください。

内分泌・代謝障害	01 糖尿病	呼吸器系	15 急性鼻咽頭炎(かぜ)	尿路生殖泌尿器系	32 腎臓の病気
	02 肥満症		16 アレルギー性鼻炎		33 前立腺肥大症
	03 脂質異常症 (高コレステロール血症等)		17 慢性閉塞性肺疾患 (COPD)		34 閉経期又は閉経後障害 (更年期障害等)
	04 甲状腺の病気		18 喘息		35 骨折
精神・神経	05 うつ病やその他の こころの病気	19 その他の呼吸器系 の病気	消化器系	損傷	36 骨折以外のけが・ やけど
	06 認知症	20 胃・十二指腸の病気			37 貧血・血液の病気
	07 パーキンソン病	21 肝臓・胆のうの病気			38 悪性新生物(がん)
08 その他の神経の病気 (神経痛・麻痺等)	22 その他の消化器系 の病気	39 妊娠・産褥 (切迫流産、前置胎盤等)			
循環器系	09 眼の病気	23 歯の病気	筋骨格系	最も気になる傷病の 番号記入欄 →	40 不妊症
	10 耳の病気	24 アトピー性皮膚炎			41 その他
	11 高血圧症	25 その他の皮膚の病気			42 不明
	12 脳卒中(脳出血、脳梗塞等)	26 痛風			
	13 狭心症・心筋梗塞	27 関節リウマチ			
	14 その他の循環器系の 病気	28 関節症			
		29 肩こり症			
	30 腰痛症				
	31 骨粗しょう症				

番号記入欄 → 番

6歳未満の方は質問終了です。6歳以上の方は続けてお答えください。

質問5 あなたは**現在**、健康上の問題で日常生活に何か影響がありますか。

1 ある 2 ない → **質問6へ**

補問5-1 それはどのようなことに影響がありますか。あてはまるすべての番号に○をつけてください。

1 日常生活動作（起床、衣服着脱、食事、入浴など）	4 運動（スポーツを含む）
2 外出（時間や作業量などが制限される）	5 その他
3 仕事、家事、学業（時間や作業量などが制限される）	

質問6 過去1か月の間に、健康上の問題で床についたり、普段の活動ができなかった（仕事・学校を休んだ、家事ができなかった等）日数はどれくらいありましたか。日数を右づめで記入してください。

1 ない 2 ある → 合計 日

質問7 あなたの現在の健康状態はいかがですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1 よい 2 まあよい 3 ふつう 4 あまりよくない 5 よくない

12歳未満の方は質問終了です。12歳以上の方は続けてお答えください。

質問8 あなたは現在、日常生活で悩みやストレスがありますか。

1 ある 2 ない → 質問9へ

補問8-1 それは、どのような原因ですか。あてはまるすべての原因の番号に○をつけてください。その中で最も気になる原因の番号を番号記入欄に記入してください。

01 家族との人間関係	12 妊娠・出産
02 家族以外との人間関係	13 育児
03 恋愛・性に関すること	14 家事
04 結婚	15 自分の学業・受験・進学
05 離婚	16 子どもの教育
06 いじめ、セクシュアル・ハラスメント	17 自分の仕事
07 生きがいに関すること	18 家族の仕事
08 自由にできる時間がないこと	19 住まいや生活環境 (公害、安全及び交通事情を含む)
09 収入・家計・借金等	20 その他
10 自分の病気や介護	21 わからない
11 家族の病気や介護	

最も気になる悩みやストレスの番号記入欄 → 番

補問8-2 悩みやストレスを、どのように相談していますか。あてはまるすべての番号に○をつけてください。また、最も気になる悩みやストレスについてどのように相談していますか。あてはまる番号の主なものを2つまで番号記入欄に記入してください。

01 家族に相談している	06 病院・診療所の医師に相談している
02 友人・知人に相談している	07 テレビ、ラジオ、新聞等の相談コーナーを利用している
03 職場の上司、学校の先生に相談している	08 01~07以外で相談している(職場の相談窓口等)
04 公的な機関(保健所、福祉事務所、精神保健福祉センター等)の相談窓口(電話等での相談を含む)を利用している	09 相談したいが誰にも相談できないでいる
05 民間の相談機関(悩み相談所等)の相談窓口(電話等での相談を含む)を利用している	10 相談したいがどこに相談したらよいかわからない
	11 相談する必要はないので誰にも相談していない

最も気になる悩みやストレスの相談状況の番号記入欄 → 番

質問9 あなたの過去1か月の1日の平均睡眠時間はどのくらいでしたか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1 5時間未満	4 7時間以上8時間未満
2 5時間以上6時間未満	5 8時間以上9時間未満
3 6時間以上7時間未満	6 9時間以上

質問10 あなたは過去1か月、睡眠によって休養が充分にとれていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1 充分とれている 2 まあまあとれている 3 あまりとれていない 4 まったくとれていない

質問11 次の(ア)から(カ)の質問について、過去1か月の間はどのようであったか、6つの項目それぞれのあてはまる番号1つに○をつけてください。

	いつも	たいてい	ときどき	少しだけ	まったく ない
(ア) 神経過敏に感じましたか	1	2	3	4	5
(イ) 絶望的だと感じましたか	1	2	3	4	5
(ウ) そわそわ、落ち着かなく感じましたか	1	2	3	4	5
(エ) 気分が沈み込んで、何が起ころうとも気が晴れないように感じましたか	1	2	3	4	5
(オ) 何をしても骨折れだと感じましたか	1	2	3	4	5
(カ) 自分は価値のない人間だと感じましたか	1	2	3	4	5

20歳未満の方は質問終了です。20歳以上の方は続けてお答えください。

質問12 あなたは週に何日くらいお酒(清酒、焼酎、ビール、洋酒など)を飲みますか。
あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|---------|--------------|----------------|
| 1 毎日 | 6 ほとんど飲まない | → 質問13へ |
| 2 週5～6日 | 7 やめた | |
| 3 週3～4日 | 8 飲まない(飲めない) | |
| 4 週1～2日 | | |
| 5 月1～3日 | | |

補問12-1 お酒を飲む日は1日あたり、どのくらいの量を飲みますか。
 清酒に換算し、**あてはまる番号1つに○をつけてください。**

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1 1合(180ml)未満 | 4 3合以上4合(720ml)未満 |
| 2 1合以上2合(360ml)未満 | 5 4合以上5合(900ml)未満 |
| 3 2合以上3合(540ml)未満 | 6 5合(900ml)以上 |

※ 清酒1合(アルコール度数15度・180ml)は、次の量にほぼ相当
 ビール中瓶1本(同5度・500ml)、焼酎0.6合(同25度・約110ml)、ワイン1/4本(同14度・約180ml)、
 ウイスキーダブル1杯(同43度・60ml)、缶チューハイ1.5缶(同5度・約520ml)

質問13 あなたはたばこを吸いますか。**あてはまる番号1つに○をつけてください。**

- | | | |
|----------------------------|------------------------------|----------|
| 1 毎日吸っている | → 1日に平均して
何本くらい吸い
ますか。 | 1 10本以下 |
| 2 時々吸う日がある | | 2 11～20本 |
| 3 以前は吸っていたが1か月以上
吸っていない | | 3 21～30本 |
| 4 吸わない | | 4 31本以上 |

質問14 あなたは日ごろ、健康のために次のような事柄を実行していますか。
あてはまるすべての番号に○をつけてください。

- | |
|-------------------------------|
| 1 規則正しく朝・昼・夕の食事をとっている |
| 2 バランスのとれた食事をしている |
| 3 うす味のものを食べている |
| 4 食べ過ぎないようにしている |
| 5 適度に運動(スポーツを含む)をするか身体を動かしている |
| 6 睡眠を十分にとっている |
| 7 たばこを吸わない |
| 8 お酒を飲み過ぎないようにしている |
| 9 ストレスをためないようにしている |
| 10 その他 |
| 11 特に何もしていない |

質問15 あなたは**過去1年間に**、健診等（健康診断、健康診査及び人間ドック）を受けたことがありますか。

注：次のようなものは健診等には含まれません。
がんのみの検診、妊産婦検診、
歯の健康診査、
病院や診療所で行う診療としての検査

1 ある 2 ない → **補問15-2へ**

補問15-1 どのような機会に健診等を受けましたか。あてはまるすべての番号に○をつけてください。

※ 1～3の各機関が指示する医療機関で受けた場合は、それぞれの機関の番号に○をつけてください。

- 1 市区町村が実施した健診
- 2 勤め先又は健康保険組合等（家族の勤め先を含む）が実施した健診
- 3 学校が実施した健診
- 4 人間ドック（上記1～3以外の健診で行うもの）
- 5 その他

【補問15-2は質問15で「2 ない」と答えた方のみお答えください。】

補問15-2 それは、どのような理由で受けなかったのですか。あてはまるすべての番号に○をつけてください。

- 01 知らなかったから
- 02 時間がとれなかったから
- 03 場所が遠いから
- 04 費用がかかるから
- 05 検査等（採血、胃カメラ等）に不安があるから
- 06 その時、医療機関に入通院していたから
- 07 毎年受ける必要性を感じないから
- 08 健康状態に自信があり、必要性を感じないから
- 09 心配な時はいつでも医療機関を受診できるから
- 10 結果が不安なため、受けたくないから
- 11 めんどうだから
- 12 その他

次頁へ続きます。

※ 質問16、補問16-1のがん検診については、健診等（健康診断、健康診査及び人間ドック）の中で受診したものも含まれます。

質問16 あなたは過去1年間に、下記のと5つのがん検診を受けましたか。それぞれの検診についてお答えください。また、受診した検診ごとに、どのような機会に受診したのかお答えください。

<p>胃がん検診(バリウムによるX線撮影や内視鏡(胃カメラ、ファイバースコープ)による撮影など)</p> <p>1 受けなかった 2 受けた</p>	<p>どのような機会に検診を受けましたか。 あてはまるすべての番号に○をつけてください。</p> <p>1 市区町村が実施した検診 2 勤め先又は健康保険組合等（家族の勤め先を含む）が実施した検診 3 その他</p>
<p>肺がん検診(胸のX線撮影や喀痰(かたん)検査など)</p> <p>1 受けなかった 2 受けた</p>	<p>どのような機会に検診を受けましたか。 あてはまるすべての番号に○をつけてください。</p> <p>1 市区町村が実施した検診 2 勤め先又は健康保険組合等（家族の勤め先を含む）が実施した検診 3 その他</p>
<p>子宮がん(子宮頸がん)検診(子宮の細胞診検査など)</p> <p>1 受けなかった 2 受けた</p>	<p>どのような機会に検診を受けましたか。 あてはまるすべての番号に○をつけてください。</p> <p>1 市区町村が実施した検診 2 勤め先又は健康保険組合等（家族の勤め先を含む）が実施した検診 3 その他</p>
<p>乳がん検診(マンモグラフィ撮影や乳房超音波(EI)検査など)</p> <p>1 受けなかった 2 受けた</p>	<p>どのような機会に検診を受けましたか。 あてはまるすべての番号に○をつけてください。</p> <p>1 市区町村が実施した検診 2 勤め先又は健康保険組合等（家族の勤め先を含む）が実施した検診 3 その他</p>
<p>大腸がん検診(便潜血反応検査(検便)など)</p> <p>1 受けなかった 2 受けた</p>	<p>どのような機会に検診を受けましたか。 あてはまるすべての番号に○をつけてください。</p> <p>1 市区町村が実施した検診 2 勤め先又は健康保険組合等（家族の勤め先を含む）が実施した検診 3 その他</p>

20歳以上の女性の方(質問16を回答いただいた方も含む)は続けてお答えください。

補問16-1 あなたは過去2年間に、下記のがん検診を受けましたか。あてはまるすべての番号に○をつけてください。

<p>子宮がん(子宮頸がん)検診(子宮の細胞診検査など)</p> <p>1 受けなかった 2 受けた</p>	<p>どのような機会に検診を受けましたか。 あてはまるすべての番号に○をつけてください。</p> <p>1 市区町村が実施した検診 2 勤め先又は健康保険組合等（家族の勤め先を含む）が実施した検診 3 その他</p>
<p>乳がん検診(マンモグラフィ撮影や乳房超音波(EI)検査など)</p> <p>1 受けなかった 2 受けた</p>	<p>どのような機会に検診を受けましたか。 あてはまるすべての番号に○をつけてください。</p> <p>1 市区町村が実施した検診 2 勤め先又は健康保険組合等（家族の勤め先を含む）が実施した検診 3 その他</p>

ご記入ありがとうございました。

国民生活基礎調査【所得票】

(平成28年7月14日調査)

この調査は、統計法に基づき国が実施する基幹統計調査です。
調査票情報の秘密の保護に万全を期していますので、ありのままを記入してください。

<記入上の注意>

- ・ この調査票は、昨年1年間（平成27年1月1日～12月31日）に何らかの所得や税金、社会保険料、企業年金・個人年金等の掛金の支出があった方が1人1冊ずつ、記入してください。
(所得には、アルバイトによる所得や仕送り、年金も含まれます。)
- ・ もし記入方法がわからなかった場合は、調査員が受け取りにうかがったときにおたずねください。
- ・ ご自分で記入できない方については、ご家族の方が回答してください。
- ・ できるだけ黒のボールペンで記入してください。
- ・ 7月14日以降に調査員があらためておうかがいいたしますので、それまでに
 枠の質問について記入してください。

所得や課税等の支出のあった方は、質問1から順に記入してください。

質問1

あなたの性・出生年月を記入してください。

性・元号はあてはまる番号1つに○をつけ、出生年月には数字を右づめて記入してください。

性	出生年月			
1 男	1 明治	3 昭和	<input type="text"/>	年 <input type="text"/> 月
2 女	2 大正	4 平成	<input type="text"/>	

※ 所得については2ページから、課税等の支出については6ページから記入してください。
15ページは、世帯主又は世帯を代表する方が記入してください。

調査員記入欄

地区番号	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	単位区番号	<input type="text"/>	<input type="text"/>	世帯番号	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	-------	----------------------	----------------------	------	----------------------	----------------------	----------------------

昨年1年間に何らかの所得を受け取った場合は、2及び4ページの所得の種類ごとに、1年分の所得金額を万円単位で記入してください。
 所得のなかった方は、6ページへお進みください。

右ページの書類をお持ちの方は参考にしてください。

【金額記入の注意】

- 万円未満は四捨五入して、万円単位で右づめに記入してください。
 (1~4,999円は「0万円」、5,000~14,999円は「1万円」)
- 生命保険の受取金、退職金、不動産や株の売却代金、宝くじの当せん金などの一時的なものは含みません。

質問2

あなたは昨年1年間
 (平成27年1月~12月)
 に何らかの所得を受け取り
 ましたか。

受け取った所得の種類ごとに
 金額を記入してください。

雇用者所得

01

--	--	--	--	--	--

万円

億 千 百 十 一

事業所得

02

--	--	--	--	--	--

万円

億 千 百 十 一

農耕・畜産
 所得

03

--	--	--	--	--	--

万円

億 千 百 十 一

家内労働
 所得

04

--	--	--	--	--	--

万円

億 千 百 十 一

財産所得

05

--	--	--	--	--	--

万円

億 千 百 十 一

1年分の所得金額がわからないときは、1か月の収入の1.2倍にボーナス分を加えるなどして、1年分の金額を計算して記入してください。

働いて得た所得

勤め先から受け取った給料、賃金、賞与(ボーナス)を合わせた税込み金額を記入してください。アルバイト等による所得も含まれます。

【参考書類】源泉徴収票 [原本又は写し]
 給与明細書
 確定申告書 [控]

事業(農耕・畜産以外)による収入から、仕入額、従業員に対する給与などの必要経費を差し引いた所得金額を記入してください。漁業・林業による所得を含みます。

【参考書類】確定申告書 [控]

農業や畜産による収入(自家消費分を含む。)から、肥料代、農薬代、家畜・家さんの購入費、雇い人の賃金などの必要経費を差し引いた所得金額を記入してください。

【参考書類】確定申告書 [控]

注文主からの委託を受けて、品物の製造や加工等(校正業務やワープロ入力などを含む。)を行って得た所得から必要な経費を差し引いた所得金額を記入してください。

財産による所得

家屋や土地を貸すことによって得た所得や、預貯金、公社債、株式などから得られた利子、配当金(源泉分離課税分を含む。)の合計額を記入してください。家や土地の売却代金、引き出した預貯金、生命保険・損害保険からの受取金を除きます。

【参考書類】確定申告書 [控]
 取引口座の通帳、配当金額収書など

給与所得者の方

⇒ 平成27年分 給与所得の源泉徴収票 [原本又は写し] を参考にしてください。

平成27年分 給与所得の源泉徴収票

支払金額	
内	千円

『雇用者所得』欄へ記入

確定申告を行った方

⇒ 平成27年分の所得税の確定申告書 [控] を参考にしてください。

※ この様式は、申告書B 第一表です。

給 与	カ								
-----	---	--	--	--	--	--	--	--	--

『雇用者所得』欄へ記入
 ※ 申告書Aでは、給与ア欄になります。

事 業 等	①						
業 農 業	②						
不 動 産	③						
利 子	④						
配 当	⑤						

- ・ 事業（営業等）① ⇒ 『事業所得』欄へ記入
 - ・ 事業（農業）② ⇒ 『農耕・畜産所得』欄へ記入
 - ・ 不動産③
 - ・ 利子④
 - ・ 配当⑤
- ⇒ 『財産所得』欄へ記入

※ 申告書Aでは、配当は③欄になります。

【注意】 源泉分離課税された「利子」「配当」のあった方は、源泉分離課税分を含めた「利子」等も『財産所得』欄に記入してください。

質問 2 (つづき)

公的年金・恩給 万円
06 千 百 十 一

雇用保険 万円
07 千 百 十 一

児童手当等 万円
08 千 百 十 一

その他の
社会保障給付金 万円
09 千 百 十 一

仕送り 万円
10 千 百 十 一

企業年金・
個人年金等 万円
11 千 百 十 一

その他の所得 万円
12 千 百 十 一

公的年金・恩給による所得

国民年金、基礎年金、厚生年金（厚生年金基金からの年金を含む。）、共済年金、福祉年金、恩給などからの受取額を記入してください。【参考書類】年金振込通知書など

1支払期（2か月）分しか受給額がわからないときは、その金額を6倍するなどして、1年分の金額を記入してください。

**公的年金・恩給以外の
社会保障給付金による所得**

雇用保険法の失業等給付の受取額（育児休業給付、介護休業給付を含む。）を記入してください。

【参考書類】雇用保険受給資格者証

児童手当、児童扶養手当、特別児童扶養手当、児童育成手当などの児童に関する社会保障給付金の受取額を記入してください。

生活保護法による扶助、医療保険による傷病手当金・出産手当金、労働者災害補償保険など其他法令に基づく支給金の受取額を記入してください。

仕送りによる所得

定期的又は継続的に送られてきた金品の額を記入してください。品物は、時価に換算した額を記入してください。

単身赴任者を送り出している世帯で、単身赴任者の口座から生活費等として定期的に引き出している場合は、その金額をこちらの欄に記入してください。

**企業年金・
個人年金等による所得**

企業年金、生命保険会社・かんぽ生命・銀行・証券会社などの個人年金及び年金型商品、国民年金基金、農業者年金などからの受取額を記入してください。

厚生年金基金からの年金は、「公的年金・恩給」に記入してください。

その他の所得

上記以外の冠婚葬祭の金、各種祝い金、せん別、見舞金などの受取額を記入してください。

退職金、宝くじの当せん金などは含みません。

公的年金を受給している方

⇒ 年金振込通知書を参考にしてください。

② 年金振込通知書

以下の金額がご指定の金融機関の預貯金口座に振り込まれます。
なお、お支払いは平成 年 月から平成 年 月まで、各月に行われます。(欄面の支払予定日をご参照ください。)

年金の種類
基礎年金番号 年金コード

受給権者氏名
振込先

「年金支払額」および「年金から特別徴収する保険料(税)額」※の金額

年金支払額	円
介護保険料額	円
所得税額および 復興特別所得税額	円
個人住民税額	円
控除請求額	円

※年金から特別徴収する保険料等とは、介護保険料、後期高齢者医療保険料、国民健康保険料(税)および個人住民税となります。

年金支払額 円

『公的年金・恩給』欄へ記入

※ 平成27年1年分の金額を記入してください。
年金振込通知書は、1支払期(2か月)分が記入されています。

雇用保険を受給している方

⇒ 雇用保険受給資格者証をお持ちの方は、それを参考にしてください。

平成27年1月1日～12月31日の間に、ア～エの「失業等給付」の支給を受けた方は、その金額の合計を『雇用保険』欄へ記入してください。

- ア 求職者給付 (基本手当、技能習得手当、寄宿手当、傷病手当、高年齢求職者給付金、特例一時金、日雇労働求職者給付金)
- イ 就職促進給付 (就業促進手当、移転費、広域求職活動費)
- ウ 教育訓練給付 (一般教育訓練給付金、専門実践教育訓練給付金、教育訓練支援給付金)
- エ 雇用継続給付 (高年齢雇用継続給付、育児休業給付、介護休業給付)

雇用保険受給資格者証 (第1面)

1. 支給費号		19. 基本手当日額	
3. 被保険者番号	4. 性別		
	8.		
	9. 支給		
10. 資格取得年月日			
13. 60歳到達時賃金日額	14.		
16. 求職申込年月日			
19. 基本手当日額	20. 所定給付日数		
22. 雇 用 前 事 業 所 名			
23. 再就職手当支給限	24. 特種表示(災害時、一括、選相、市町村)		

『雇用保険』欄へ記入

※ 雇用保険(求職者給付の基本手当の場合)
平成27年1月1日～12月31日の間に
実際に受給された日数に、基本手当日額を掛けた
金額を記入してください。

【金額記入の注意】

万円未満は四捨五入して、万円単位で右づめに記入してください。
(1～4,999円は「0万円」、5,000～14,999円は「1万円」)

質問3

平成27年分の所得税の課税はありましたか。

あてはまる番号に○をつけ、
1に○をつけた方は金額も記入してください。

1 課税あり

所得税

万 千円

千 百 + -

千円未満は四捨五入して、千円単位で右づめに記入してください。
(1~499円は「0千円」、500~1,499円は「1千円」)

2 課税なし

※ 不動産譲渡にかかる所得税は、除いてください。

【参考書類】

- * 平成27年分 給与所得の源泉徴収票 [原本又は写し]
- * 年金振込通知書
- * 平成27年分の所得税の確定申告書 [控]

給与所得者の方

⇒ 平成27年分 給与所得の源泉徴収票[原本又は写し]を参考にしてください。

平成27年分 給与所得の源泉徴収票

氏名	住所	生年月日	性別	職業	勤務先	給与支払者の名称	給与支払者の住所	給与支払者の代表者	源泉徴収税額																			
<table border="1"> <tr> <td>所得税及び復興特別所得税の額</td> <td>④2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>外国税額控除</td> <td>④3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>									所得税及び復興特別所得税の額	④2									外国税額控除	④3								
所得税及び復興特別所得税の額	④2																											
外国税額控除	④3																											

源泉徴収税額

源泉徴収税額を『所得税』欄へ記入

確定申告を行った方

⇒ 平成27年分の所得税の確定申告書[控]を参考にしてください。

所得税及び復興特別所得税の額 (④十円)	④2								
外国税額控除	④3								

所得税額 = 所得税及び復興特別 - 外国税額控除
↓
所得税の額 ④2
『所得税』欄へ記入

※ 申告書Aでは、③6と③7の欄になります。

平成27年分の確定申告書の申告書B

第一表 この用紙は控用です。

所得税額	④2								
外国税額控除	④3								

公的年金を受給している方

⇒ 公的年金から天引きされた方は、年金振込通知書を参考にしてください。

② 年金振込通知書

以下の金額がご指定の金融機関の預貯金口座に振り込まれます。
なお、お支払いは平成 年 月から平成 年 月までの各振込月に行われます。(振込の支払予定日をご確認ください)

年金の種類 年金

振込申請番号	年金コード
--------	-------

受給者氏名

振込先

〔年金支払額〕および〔年金から特別徴収する保険料(税)額〕等の金額

年金支払額	円
介護保険料額	円
	円
所得税額および復興特別所得税額	円
個人住民税額	円
控除額等込額	円

所得税額および復興特別所得税額 円

『所得税』欄へ記入

※ 平成27年1年分の金額を記入してください。
年金振込通知書は、1支払期(2か月)分が記入されています。

【金額記入の注意】

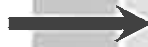
千円未満は四捨五入して、千円単位で右づめに記入してください。
(1~499円は「0千円」、500~1,499円は「1千円」)

質問 4

平成28年度の住民税の課税はありましたか。

あてはまる番号に○をつけ、
1に○をつけた方は金額も記入してください。

1 課税あり



住民税

								万		千円
--	--	--	--	--	--	--	--	---	--	----

千 百 十 一

千円未満は四捨五入して、千円単位で右づめに記入してください。
(1~499円は「0千円」、500~1,499円は「1千円」)

2 課税なし

※ 住民税は、市町村（区）民税と道府県（都）民税の合計です。
不動産譲渡にかかる住民税は、除いてください。

【参考書類】

- * 平成28年度 給与所得等に係る市町村（区）民税・道府県（都）民税
特別徴収税額の決定・変更通知書
- * 平成28年度 市町村（区）民税・道府県（都）民税
税額決定・納税通知書

給与所得者の方

⇒ 給与天引き以外に住民税を納めている方は、次の「給与所得者以外の方」を参考にしてください。

平成28年度 給与所得等に係る市町村（区）民税・道府県（都）民税特別徴収税額の決定・変更通知書を参考にしてください。

※ 様式は、各地方公共団体によって異なります。

平成28年度 給与所得等に係る市町村民税・道府県民税 特別徴収税額の決定・変更通知書 納税義務者用

納税者 氏名 住所 市町村民税 道府県民税 特別徴収税額

特別徴収税額⑧

特別徴収税額⑧

特別徴収税額⑧を『住民税』欄へ記入

給与所得者以外の方

⇒ 平成28年度 市町村（区）民税・道府県（都）民税税額決定・納税通知書を参考にしてください。

※ 様式は、各地方公共団体によって異なります。

市町村民税・道府県民税 税額決定 通知書 納税

平成28年度 納税者 住所 氏名

市町村民税及び道府県民税決定の明細

通知書の項目記載例：

- 「住民税額計」
- 「年税額」
- 「市町村（区）民税及び道府県（都）民税の合計税額」
- 「普通徴収と特別徴収の合計額」

円

記載されている額を『住民税』欄へ記入

【金額記入の注意】

千円未満は四捨五入して、千円単位で右づめに記入してください。
(1~499円は「0千円」、500~1,499円は「1千円」)

質問 5

平成 27 年分の社会保険料の支払いはありましたか。

医療保険（短期掛金）・年金保険（長期掛金）・介護保険・雇用保険のうち、ひとつでも支払いのあったときには、1に〇をつけ、支払った金額も記入してください。ひとつも支払いがなかったときには、2に〇をつけてください。

※ 保険料は、実際に支払った方が記入してください。

1 支払いあり

2 支払いなし

支払いのない方は、14ページにお進みください。

● 昨年 1 年間に支払った社会保険料の総額を記入してください。

記入のしかたは、11ページの【『社会保険料の総額』の記入のしかた】より、「給与所得者の方」又は「給与所得者以外の方」から選んで記入してください。

社会保険料の総額

01

千 百 十 一 万

万

千 円

千円未満は四捨五入して、千円単位で右づめに記入してください。

● 支払った保険料の内訳を記入してください。

記入のしかたは、12ページの【『支払った保険料の内訳』の記入のしかた】より「給与所得者の方」又は「給与所得者以外の方」から選んで記入してください。

内 訳

医療保険 (短期掛金)

02

千 百 十 一 万

万

千 円

千 百 十 一

年金保険 (長期掛金)

03

千 百 十 一 万

万

千 円

千 百 十 一

介護保険

04

千 百 十 一 万

万

千 円

千 百 十 一

雇用保険

05

千 百 十 一 万

万

千 円

千 百 十 一

千円未満は四捨五入して、千円単位で右づめに記入してください。(1~499円は「0千円」、500~1,499円は「1千円」)

【『社会保険料の総額』の記入のしかた】

給与所得者の方		給与所得者以外の方	
下の書類をお持ちですか。複数お持ちの方は1つを選んでください。		下の書類をお持ちですか。複数お持ちの方は1つを選んでください。	
持っている方	源泉徴収票 [原本又は写し] ⇒ 参考資料①	持っている方	確定申告書 [控] ⇒ 参考資料②
	確定申告書 [控] ⇒ 参考資料②		住民税の納税通知書 ⇒ 所得控除欄の「社会保険料」
	住民税の納税通知書 ⇒ 所得控除欄の「社会保険料」		
持っていない方	⇒ 12ページに進み、【『支払った保険料の内訳』の記入のしかた】を参考に、内訳を計算してから、内訳の合計を総額に記入してください	持っていない方	⇒ 12ページに進み、【『支払った保険料の内訳』の記入のしかた】を参考に、内訳を計算してから、内訳の合計を総額に記入してください。

【注意】 昨年、年の途中で支払い方法を変更された方（例：納付書から給与天引きに変更）は、それぞれで支払った保険料の合計を記入してください。

参考資料① 給与所得者の方

⇒ 平成27年分 給与所得の源泉徴収票 [原本又は写し] を参考にしてください。

平成27年分 給与所得の源泉徴収票

社会保険料等の金額
『社会保険料の総額』欄へ記入

参考資料② 給与所得者の方 給与所得者以外の方

⇒ 平成27年分の所得税の確定申告書 [控] を参考にしてください。

平成27年分の所得税の確定申告書の 申告書B

社会保険料控除 (12)

『社会保険料の総額』欄へ記入
※ 申告書Aでは、◎欄になります。

【金額記入の注意】
千円未満は四捨五入して、千円単位で右づめに記入してください。
(1~499円は「0千円」、500~1,499円は「1千円」)

【『支払った保険料の内訳』の記入のしかた】

給与所得者の方

給与明細書をお持ちですか。
（給与から天引きされていない方は、右の「給与所得者以外の方」から選んでください。）

1年分を持っている方
 ⇒ 月々（ボーナス分を含む。）の給与明細書から、社会保険料の種類ごとに平成27年1年分の金額を合計して記入してください。

1か月分を持っているが、1年分は持っていない方

10ページの『社会保険料の総額』を記入した方
 ⇒ 計算式A

10ページの『社会保険料の総額』を記入していない方
 ⇒ 計算式B

給与所得者以外の方

保険料は、どのような方法で納付されましたか。

口座振替 又は 納付書（普通徴収）で納付された方
 ⇒ 納入（税）通知書又は各納付書から、国民健康保険料（税）、国民年金保険料、介護保険料の平成27年に納付した金額の合計を記入してください。

公的年金から天引き（特別徴収）で納付された方
 ⇒ 参考資料③
 年金振込通知書等から、医療保険料、介護保険料の平成27年に納付した金額の合計を計算してください。

- 【注意】
- ・ 昨年、年の途中で支払い方法を変更された方（例：納付書から給与天引きに変更）は、それぞれで支払った保険料の合計を記入してください。
 - ・ 40歳以上の方で、医療保険と介護保険の区別ができない場合は、医療保険にまとめて記入してください。
 - ・ 「厚生年金基金」の支払いは年金保険に含めますが、「国民年金基金」、「農業者年金」の支払いは、14ページの質問7「企業年金・個人年金等」に含めてください。

参考資料③ 給与所得者以外の方

② 年金振込通知書

以下の金額がご指定の金融機関の振込口座に振り込まれます。なお、お支払いは平成 年 月から平成 年 月までの各納期に行われます。（欄面の支払予定日をご参照ください）

年金の種類	年金
基礎年金番号	年金コード

受給権者氏名
振込先

「年金支払額」および「年金から特別徴収する保険料(税)額」※毎の金額

年金支払額	円
介護保険料額	円
所得税額および復興特別所得税額	円
個人住民税額	円
控除後振込額	円

介護保険料額	円
	円

以下のいずれかが印字
 「国保保険料（税）額」
 「後期高齢者医療保険料額」
 「*****」

- ・ 介護保険料額
 ⇒ 『介護保険』欄へ記入
- ・ 国保保険料（税）額 又は 後期高齢者医療保険料額
 ⇒ 『医療保険(短期掛金)』欄へ記入

※ 平成27年1年分の金額を記入してください。年金振込通知書は、1支払期（2か月）分が記入されています。

計算式A

『社会保険料の総額』を記入した方

① 給与明細書から転記

(1) 1か月分の 医療保険料 (短期掛金)	[] 円 × (6) [] =	医療保険 (短期掛金) 02 [] 円
(2) 1か月分の 年金保険料 (長期掛金)	[] 円 × (6) [] =	年金保険 (長期掛金) 03 [] 円
(3) 1か月分の 介護保険料	[] 円 × (6) [] =	介護保険 04 [] 円
(4) 1か月分の 雇用保険料	[] 円 × (6) [] =	雇用保険 05 [] 円

計算後、千円未満は四捨五入して、千円単位で10ページに記入してください。

②

(5) 『社会保険料の総額』
※10ページに記入した額と同じ金額

社会保険料の総額 01 [] 千円 ÷ (1)~(4)を合計し、千円未満は四捨五入 [] 千円 = (6) [] 千円

小数点第2位を四捨五入

計算式B

『社会保険料の総額』を記入していない方

①

給与の月数 [] 回 + ボーナス月数 [] 回 = (1) []

(1年分のボーナスが給与の何か月に相当するか) 小数点第2位を四捨五入

②

給与明細書から転記

(2) 1か月分の 医療保険料 (短期掛金)	[] 円 × (1) [] =	医療保険 (短期掛金) 02 [] 円
(3) 1か月分の 年金保険料 (長期掛金)	[] 円 × (1) [] =	年金保険 (長期掛金) 03 [] 円
(4) 1か月分の 介護保険料	[] 円 × (1) [] =	介護保険 04 [] 円
(5) 1か月分の 雇用保険料	[] 円 × (1) [] =	雇用保険 05 [] 円

計算後、千円未満は四捨五入して、千円単位で10ページに記入してください。

③

計算した『02 医療保険（短期掛金）』から『05 雇用保険』の合計を千円単位で記入

社会保険料の総額 01 [] 千円 ※ 10ページの『01 社会保険料の総額』欄へ忘れずに記入してください。

質問6

平成27年度の固定資産税の課税はありましたか。

あてはまる番号に○をつけ、
1に○をつけた方は金額も記入してください。

1 課税あり

固定資産税

万 千円

千 百 十 一

千円未満は四捨五入して、千円単位で右づめに記入してください。
(1~499円は「0千円」、500~1,499円は「1千円」)

2 課税なし

※ 個人所有の土地・家屋（事業関係分は除く。）に対する税額です。
土地・家屋の名義人が否かにかかわらず、実際に支払った方が記入してください。

【参考書類】平成27年度 固定資産税・都市計画税通知書

質問7

平成27年分の企業年金・個人年金等の掛金を
支払いましたか。

あてはまる番号に○をつけ、
1に○をつけた方は金額も記入してください。

1 支払いあり

企業年金・個人年金等

万 千円

千 百 十 一

千円未満は四捨五入して、千円単位で右づめに記入してください。
(1~499円は「0千円」、500~1,499円は「1千円」)

2 支払いなし

※ 掛金は、実際に支払った方が記入してください。

【企業年金の例】確定給付企業年金・確定拠出年金（企業型）などの本人拠出分

【個人年金の例】生命保険会社・かんぽ生命・銀行・証券会社などの個人年金や年金型商品

【その他】国民年金基金、農業者年金、確定拠出年金（個人型）



世帯主 又は 世帯を代表する方 は
引きつづき下の 質問 8 にもお答えください。

質問 8

現在の暮らしの状況を総合的にみて、どう感じていますか。

あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

1 大変苦しい

2 やや苦しい

3 普通

4 ややゆとりがある

5 大変ゆとりがある

ご記入ありがとうございました。



国民生活基礎調査【貯蓄票】

(平成28年7月14日調査)



調査員記入欄

地区番号	単位区番号	世帯番号
------	-------	------

<記入上の注意>

- ・『(貯蓄票)記入のしかた』をよくお読みになってから記入してください。
- ・世帯主だけでなく世帯員全員の貯蓄、借入金の合計を記入してください。
- ・ここでいう貯蓄・借入金には、家計用だけでなく個人営業のための分も含めます。
- ・できるだけ黒のボールペンで記入してください。

この調査は、統計法に基づき国が実施する基幹統計調査です。
調査票情報の秘密の保護に万全を期していますので、ありのままを記入してください。

世帯主又は世帯を代表する方がお答えください。

質問1 あなたの世帯に以下に掲げる貯蓄はありますか(平成28年6月末日現在)。
「1 貯蓄あり」「2 貯蓄なし」のいずれかに○をつけ、貯蓄がある場合は合計貯蓄現在高を記入してください。

- ゆうちょ銀行、銀行、信用金庫、農業協同組合などの金融機関への貯金
- (1) (預金)(通常貯金・普通預金、定額・定期貯金(預金)、積立貯金(預金)、当座預金等) 1 貯蓄あり 2 貯蓄なし
-
- 生命保険、個人年金保険、損害保険、簡易保険のこれまでに払い込んだ保険料(掛け捨ての保険は除きます。)
- (2) 【計算例】 1 貯蓄あり 2 貯蓄なし
- ・月々の払込み額×12(か月)×これまでに払込んだ年数
 - ・年間の払込み額×これまでに払込んだ年数
-
- 株式・株式投資信託(時価) } ※時価は6月末日で計算
- (3) 債券(額面)、公社債投資信託(時価) 1 貯蓄あり 2 貯蓄なし
- 金銭信託・貸付信託(額面)
-
- (4) その他の預貯金(財形貯蓄、社内預金等) 1 貯蓄あり 2 貯蓄なし

合計貯蓄現在高 万円

億 千 百 十 一

質問2 あなたの世帯の貯蓄現在高は昨年(平成27年6月末日)と比べて変わりましたか。
あてはまる番号に○をつけ、貯蓄が減った場合は減少額、減少理由を記入してください。

- 1 貯蓄が増えた
- 2 貯蓄は変わらない
- 3 貯蓄が減った
- 減少額 万円
- 億 千 百 十 一
- あてはまるすべての理由の番号に○をつけてください。
- 1 日常の生活費への支出
 - 2 土地・住宅の購入費
 - 3 入学金、結婚費用、旅行等の一時的な支出
 - 4 株式等の評価額の減少
 - 5 その他

質問3 あなたの世帯に土地・家屋の購入、耐久消費財の購入、教育資金等の生活のために必要な資金の借入金はありますか(平成28年6月末日現在)。
あてはまる番号に○をつけ、借入金がある場合は合計借入金残高を記入してください。

1 借入金あり → 合計借入金残高 万円

2 借入金なし

億 千 百 十 一

ご記入ありがとうございました。